令和６年度　南陽園在宅サービスセンター事業報告

南陽園在宅サービスセンター（認知症対応型通所介護事業）は、浴風会の基本理念の「利用者中心のサービスの提供」、「地域との協働と社会貢献事業」に基づいて、地域の高齢者及びご家族が住み慣れた居宅での生活を継続できるよう支援することを目的にサービスの提供に努めた。

１　利用者の状況

（令和 7 年 3 月 31 日現在）

(1)　利用者の概況

年度別	5 年度	6 年度
定員	12 名	12 名
年間延べ利用者人員	2,737 名	2,761 名
１日平均利用者人員	8.8 名	8.9 名
利用率	77.1%	78.6%
新規契約者数	11 名	12 名
契約終了者数	18 名	11 名
年度末契約者数	23 名	24 名

※サービス提供時間延長分も換算。

(2)　介護度の状況

年度別	5 年度		6 年度	
	人数	割合	人数	割合
要介護 5	6 名	26.1%	7 名	29.2%
要介護 4	6 名	26.1%	4 名	16.7%
要介護 3	4 名	17.3%	7 名	29.2%
要介護 2	5 名	21.8%	6 名	25.0%
要介護 1	2 名	8.7%	0 名	0%
合計	23 名	100%	24 名	100%

２　施設運営の実施状況

（1）安定的な経営基盤の確保

・ 利用状況

ア 今年度中の新規契約者は 12 名であり、今年度末日現在の契約者数は 24 名であった。なお、契約終了者は 11 名で、内訳は施設入所 5 名、死亡 1 名、看取り 1 名、入院 2 名、他サービスへの変更 2 名であった。

イ 年間平均利用率は 78.6%（時間延長換算分を含む）と目標（80%）には届かなかった。その主な原因として長期入院やショートステイによる欠席が増えたことが影響した。（年間欠席延べ 820 名）

ウ 感染症関係は、4 月に浴風園入居者 3 名が当園内でコロナに罹患したが、他の利用者へ感染することはなかった。

（2）利用者中心のサービスの提供

① 利用者ニーズへの対応

ア アセスメントに基づいた一人ひとりのニーズに応える通所介護計画及び個別機能訓練計画を策定し、定期的なモニタリングを実施してサービスの提供を行った。

イ 地域のケアマネジャーと連携を強化し、ご利用者の状態変化時には送迎時間の調整やアドバイスをするなど迅速に対応するよう努めた。

ウ ご希望の多い入浴サービスについては、可能な限りニーズに応えて実施した。（延べ 1,336 名）

エ 個別機能訓練計画に基づき、歩行訓練、関節可動域訓練、体操などを実施した。入院などによる脚力低下が見られるご利用者もおり、個々に合わせプログラムを策定し筋力向上に努めた。

オ ボランティアの受け入れについて、フルートや麻雀のボランティアにご協力をいただいた。

カ 運営推進会議を 10 月 16 日（水）と 3 月 13 日（木）の 2 回開催した。杉並区、地域包括支援センター職員、居宅介護支援事業所ケアマネジャー、地域住民代表、ご家族など延べ 21 名に参加いただき、運営状況や運営指導の結果、活動内容など説明し、要望・意見交換を行った。

キ 災害時対策（災害伝言ダイヤル）

ＮＴＴ東日本が災害時、臨時開設する「災害伝言ダイヤル」を活用し、電話が繋がらない状況でも、ご家族の不安を軽減出来るよう、ご利用者の安否や送迎の変更などを伝言にて、ご家族に報告出来るようにしているが今年度も使用することはなかった。新規でのご利用者も増えていることから、改めて使用方法等の確認を随時行っていく。

ク 実施行事

4 月	お花見週間	12 月	年忘れ会
7 月	七夕会	1 月	新年会
8 月	納涼会	2 月	節分
9 月	敬老会	随時	誕生祝

② 虐待未然防止の徹底及びサービスマナーの向上

ご利用者の権利擁護と適切なサービスマナーへの意識を全職員深めるため、全職員に「虐待の芽チェックリスト」を用いて、不適切ケアの有無や「挨拶・笑顔・丁寧な言葉遣い」が出来ているか自己・相互点検を行った。併せて、南陽園と合同での権利擁護・虐待防止委員会及び内部研修に参加させた。

(3) 専門職の連携を活かした職場づくり

ア 外部施設見学やアクティブ福祉に 2 名の職員が参加した。また、感染症研修や高齢者虐待防止研修には、リモート研修を活用し全職員が参加、することができた。今年度の入浴介助に関わる研修や認知症研修については、OJT 研修として関わり方等を中心にセンター長・相談員が直接指導した。

イ 計画的に年次休暇取得できるよう調整を行い、職員のストレス軽減に努めることができた。

(4) 地域との協働と社会貢献

① 地域高齢者への生活支援、介護予防

担当ケアマネジャー及び他のサービス事業所担当者で構成するサービス担当者会議に可能な限り参加し、関係機関との連携を深めるように努めた。

② 自主教室「ももの木トレーニング」支援

南陽園と共同して 6 台のトレーニングマシンを活用し、南陽園機能訓練室

を使用して毎週水曜日午後に少人数の完全予約制で取り組んだ。年間 51 回延べ 2,330 名が参加した。新規での参加希望も増えており地域の方のニーズは高い。また、ボランティアで延べ 184 名に活動をサポートしていただいた。

（4）その他

杉並区より定例の運営指導が実施された。

・実施年月日　：令和 6 年 7 月 10 日

・主指摘事項　：居宅サービス計画の変更等に沿った通所介護計画の未作成又は遅れていた事など

・改善結果　：居宅サービス計画の変更等に沿った通所介護計画を適切に作成するよう改善させた。